

保存修復技術の国際的応用に関する研究 (コ03)

目 的 文化遺産保護に関して諸外国が有する問題は、それぞれの地域、環境に応じて多種多様であり、それらへの対応には他国で実績のある既存の手法をそのまま適用することが必ずしもできない。そこで、本プロジェクトでは文化遺産の現地における持続可能な保存・修復・活用のための維持管理を目標に、各国における問題を分析し、現地に即した修復技法、材料を研究するとともに、当研究所を中心に諸外国の専門家ネットワークを構築し、意見交換、技術移転をすることで、現地担当者の育成を図る。

- 成 果**
- トルコ・カッパドキアにおける壁画の保存管理に関する研修の実施 (2019(令和元)年6月8日～18日)
 - ミャンマー・バガン遺跡における煉瓦造寺院外壁及び壁画の保存に向けた調査と修復方法の研究
 - 煉瓦造寺院 (Me-taw-ya 寺院) の外壁調査と保存修復方法の研究 (2019(令和元)年7月10日～30日)
 - 壁画 (Lokahteikpan 寺院) の保存修復に係る人材育成事業 (2019(令和元)年7月10日～30日)
 - 考古国立博物館局バガン支局職員を対象にしたワークショップ (2019(令和元)年7月15日～27日)
- ◆ワークショップテーマ
- 煉瓦造寺院外壁の保存修復
 - 地震被災箇所の応急処置
 - 壁画保存修復
- ミャンマー宗教文化省との技術協力内容に関する合同会議 (2020(令和2)年1月21日～7月24日)
 - バガン王朝期における壁画の図像に関する民俗学的調査 (2019(令和元)年7月11日～16日) (2020(令和2)年1月16日～24日)
 - ミャンマー・バガン遺跡における壁画の虫害調査 (2020(令和2)年1月27日～30日)



バガン支局若手職員を対象にしたワークショップ

- 発 表**・Yoshifumi Maekawa: "The field course - Challenges and Issues to Wall Painting Conservation" Cappadocia University, Turkey 19.6.15
- ・嶋原由美、前川佳文 「ミャンマー・バガン考古遺跡群における壁画保存修復に向けた調査研究」—バガン王朝と復興期における壁画の比較研究— 文化財保存修復学会第41回大会 19.6.22
- 刊行物**・Yoshifumi Maekawa, Daniela Murphy: "Current and future project reports of the Tokyo National Research Institute for Cultural Properties" Bagan branch of the Department of Archaeology, National Museum and Library, Myanmar 20.1.23
- ・Capacity Building Report -Mission N°5- ; study, risk assessment and intervention proposal of the wall paintings decorating the southern wall of Lokahteikpan, 令和元年度成果報告書 東京文化財研究所 20.3

研究組織 ○加藤雅人、前川佳文、牛窪彩絢(以上、文化遺産国際協力センター)、小峰幸夫(保存科学研究センター)